

「サロン時間学」とは。。。

ヒトの時間、社会の時間、機械の時間、心の時間・・・この世の、あらゆることからは時間と関係しています。どこにどれだけ「多様な時間の姿」があるのか？

研究の話でも、思いつきの話でも、突拍子もない考えでも、便乗発言、大いに歓迎！

気ままに、話の赴くままに、お茶を飲みながら語ってみませんか？

参加自由

飛び入り参加
途中入退室
OK!

第10回

サロン時間学

日時：平成27年11月27日(金)15時00分～

場所：時間学研究所 所長室

話題提供者

西井淳 先生(大学院理工学研究科(理学)・教授)



【二足歩行のコツの発見 - 運動の巧みさを探る】

20世紀初頭に活躍したロシアの生理学者 Bernstein は、熟練した鍛冶屋の運動計測を行い、打ち下ろされた槌先は毎回正確に目標点を打つにもかかわらず、腕の軌道は1回毎に異なることを発見した。このことは、ヒトの運動制御において重視されている点とそうでない点があることを示唆する。では、例えば歩行の運動制御において重視されている点とはどこであろうか。このようないわば運動のコツとでも言うべき点を探る研究について紹介する。またこの機会に、ヒトの運動スキル(巧みさ)の理解のために重要な点は何かについて意見交換をしたい。

